

平成29年度 学校評価＜学校関係者評価＞結果報告

1 開催日時：平成30年2月21日（水）

2 開催場所：伊達市立大滝小学校

3 出席者：

学校運営協議会	会長	高橋 恵二	小学校PTA会長
	副会長	志 斉 哲雄	学校評議員
	委員	橋 本 誠一	学校評議員
		本 田 浩美	学校評議員
		宇佐美 雅昭	自治会連合会長
		高橋 明美	主任児童委員
		石川 淳子	主任児童委員
		高橋 広 顕	中学校PTA会長
		加藤 久 司	小学校長
		諏訪 厚	中学校長
事務局		横山 康彦	小学校教頭
		植田 資世	中学校教頭
		高橋 淳	小学校教諭
			計 10名
			計 3名

4 内容

- (1) 学校評価結果を事前に配布できないか。会議の中での質問は難しい。
→次年度は、事前に郵送するなどの方法で前向きに検討する。
- (2) 保護者・児童・教職員のアンケート項目は同じ内容か。また、アンケート結果の中で保護者と児童の意識の違いが見られる項目はあったか。
→すべてではないが、内容は同じ項目が多い。挨拶の励行に関しては、保護者・児童とも共通して低く、テレビ・ゲーム時間の項目については、親子間の意識の差がある。
- (3) 学習に関する項目で、子どもの理解と先生側の意識の差はないか。その結果は、職員の勤務評価につながらないのか。
→CRTの結果等も活用しながら、現状を正しく捉えて、授業改善等に取り組んでいる。勤務評価は別項目で行っており、このアンケート結果はつながらない。
- (4) 前回の会議で子どもたちの挨拶について話題にあがったが、その後の地域での様子はどうか。
→集落センターで子どもたちに会うことが多いが、中学生がよく挨拶をしてくれる。小学生も中学生がするからしてくれる。
→それなりに改善の傾向がある。
→小学生がよくしてくれる。バドミントンの子どもたちもよくする。
→中学生は集落センターで見かけ、よくしてくれる。小学生は気後れするのか、しないときもある。
→根気強く大人が続けるしかない。子どもに比べたら、大人の方が挨拶は足りないように感じる。